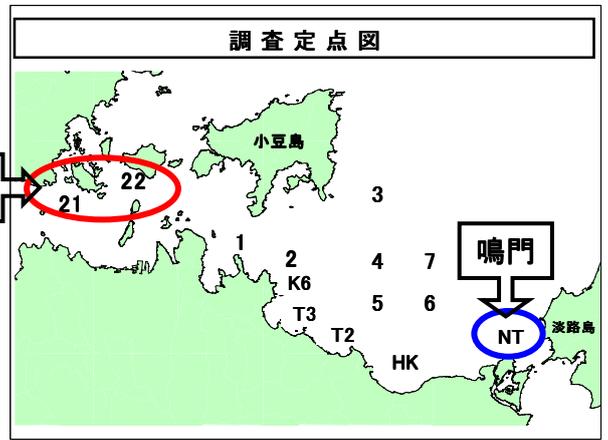


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 7- 2)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



浅海定線調査結果

調査日: 7月18日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.7.14	0	58	17	1	41	34	3	19	3	0	0				16.0	-
2007.7.19	0	0	5	0	0	0	1	0	1	0	0				0.6	-
2008.7.18	1	2	2	0	1	60	13	0	3	1	0	0	0	53	7.5	9.7
2009.7.18	0	0	268	3	0	3	10	0	0	0	0	0	0	6	25.8	20.7

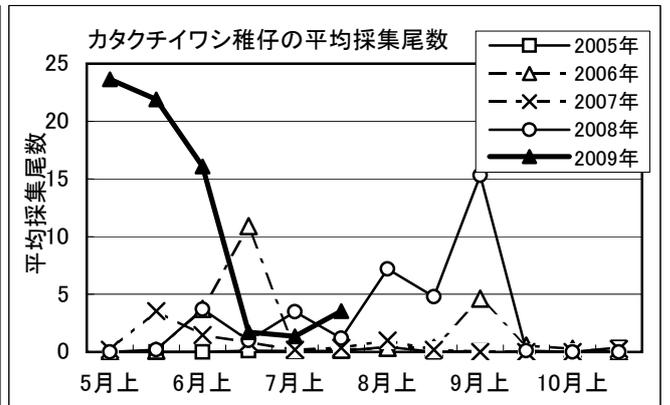
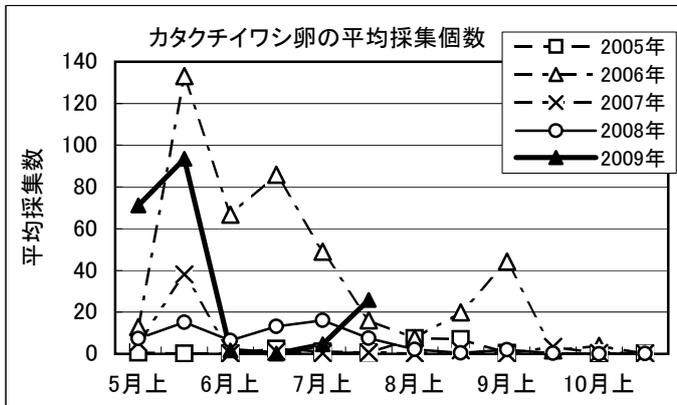
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.7.14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0.2	-
2007.7.19	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1				0.4	-
2008.7.18	0	0	9	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1.2	0.9
2009.7.18	0	0	4	8	5	8	13	1	0	0	0	0	1	2	3.5	3.0

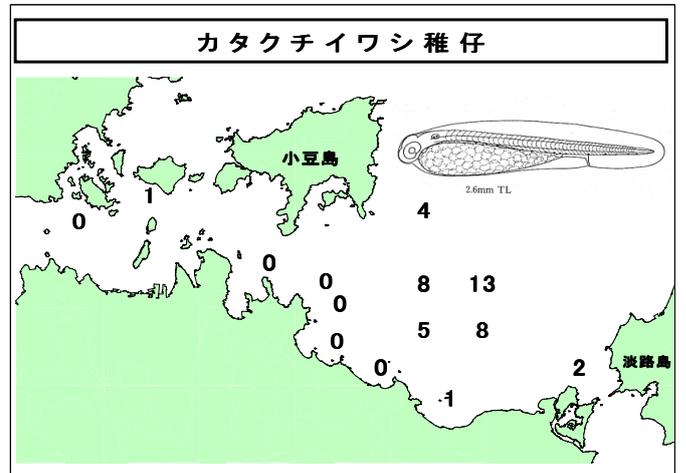
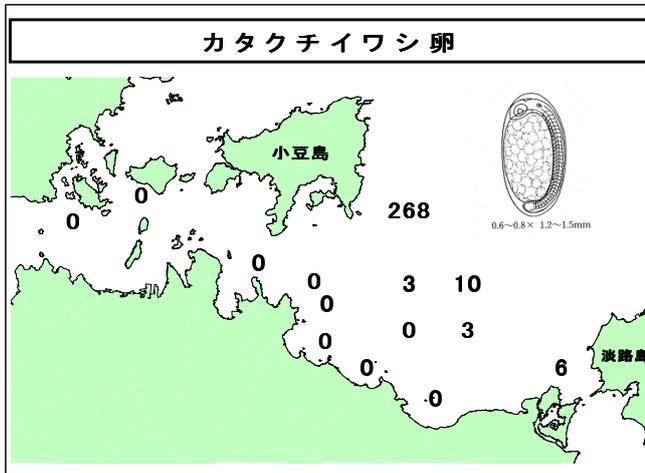
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。

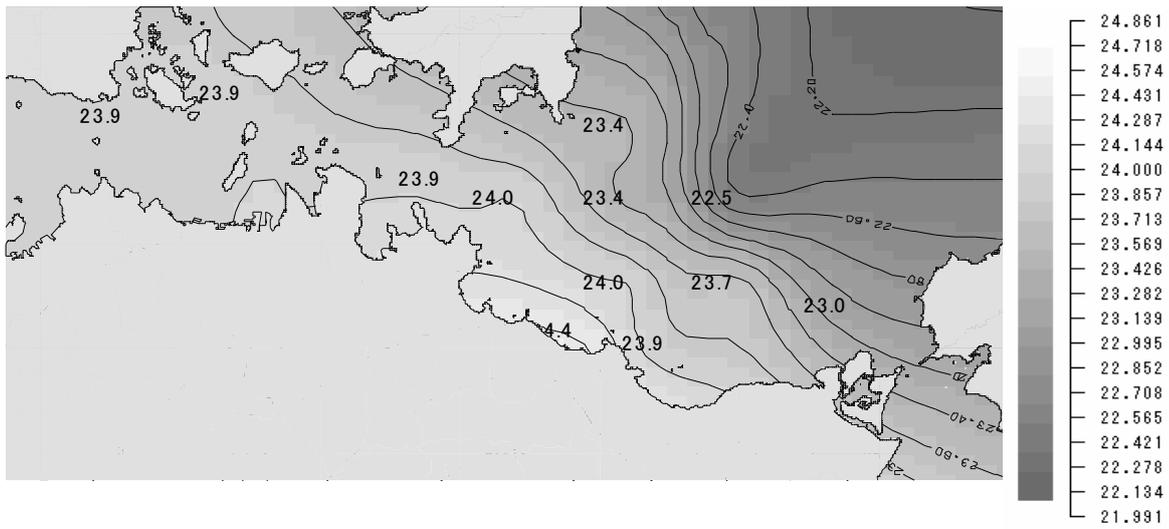


播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 26個となり、昨年同時期を上回った。卵は沖合いの定点で出現が多い傾向が見られた。

一方、稚仔の出現は約 3.5尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔についても、沖合いでの出現が多かった。引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月以降の水温は平年並みに推移している。

【参考】
平成21年7月16日の海況

水温（水深10m層）



塩分（水深10m層）

